

# 3.8国際女性デー

## 女性委員会・青年委員会が 高崎駅前呼びかけと チラシ配布を実施

3月3日、高崎駅前および市内において女性委員会と青年委員会の総勢15名が、3.8国際女性デーの街頭宣伝とチラシ配布行動を実施しました。

3.8国際女性デーの歴史は、1857年3月8日にニューヨークの被服工場で、働く女性たちが低賃金・長時間労働に対し抗議を行ったことがはじまりで、その後3月8日は国連の国際女性デーとなりました。

連合も1996年から春季生活闘争の統一行動として、3.8国際女性デーに取り組んでおり、全国各地の地方連合会で、集会や街宣行動を実施しています。



後藤かつみ県議会議員  
選挙候補予定者も  
応援

のぼり旗を片手に  
ご協力を!



女性委員会



青年委員会

新井委員長(電力総連) 岩崎幹事(情報労連) 高橋委員長(JAM)

## パートタイム労働者の均等・均衡待遇を! 仕事と生活の調和を実現させよう!



参加者全員集合!

高崎駅前では、女性委員と青年委員が、①パートタイム労働者の均等・均衡待遇、②仕事と生活の調和、③ホワイトカラーイグゼンションの導入反対などについて訴えるとともに「格差社会の是正」や「すべての働く人のためのワークルールの実現」など「STOP! THE格差社会」を合言葉にして取り組んでいることを訴えました。

また、連合群馬が推薦している「後藤かつみ県議会議員選挙候補予定者」も応援に駆けつけ、女性委員会・青年委員会とともに、格差是正とワークルールの実現について県民に対し訴えました。

今後も、女性委員会・青年委員会として、安心して暮らせる社会の実現に向けて取り組んでいきます。

## 連合群馬・塚越 紀一県議

# 「前橋・伊勢崎労働基準監督署の統廃合中止を求める要請書」

## を群馬労働局に提出

国家公務員の削減に伴う労働基準監督署統廃合の検討が全国的に行われている中、2月21日群馬労働局において、伊勢崎市選出の塚越紀一県議ならびに連合群馬 大橋会長・阿部事務局長・松本副事務局長が「前橋・伊勢崎労働基準監督署の統廃合中止を求める要請書」を田辺労働局長に提出しました。

大橋会長からは「労働相談件数が年々増加する中で、労働基準監督署が身近にあることを住民は望んでいる。統廃合中止を強く要請すると共に、労働基準監督署の充実を求める。」との要請の主旨説明を行ないました。



労働局と意見を交わす 左から阿部事務局長・塚越県議・大橋会長

田辺労働局長に要請書を提出する  
連合群馬・大橋会長(左写真)と塚越県議(右写真)



塚越県議は新聞記事を持参して「伊勢崎は全国的に見ても産業が急成長しており、労働基準監督署の必要性を在住民も実感している。」と市民の立場に立ち統廃合の中止を求めました。それを受けて田辺労働局長は「行政へ大きな期待を寄せていただいていることを真摯に受け止め、住民のサービス低下にならないよう最大限の検討を進めるとともに本省にしっかり伝えたい。」とコメントされ、その後の意見交換の中でも働く者にとっての労働基準監督署の必要性について訴えました。